



有限会社 松浦木工

オーダーメイド家具、建具、リフォーム

代表者名 代表取締役 松浦 晃

設立年月日 2003年(平成15年) 10月1日

所在地 〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津 1067

TEL 0555-72-0726

FAX 0555-72-3917

E-Mail info@craft223.com

URL http://craft223.com

資本金額 300万円

従業員数 5人

Interview

代表取締役
松浦 晃

Theme 意匠物をスキャンすればCADデータなどで誰でも木工製品を製造できる工法の導入

木のぬくもりが感じられるモノづくりの技術を磨き、ニーズに合った製品制作を実現するため、NCルータと美術工芸用のCAD/CAMを導入した。熟練工に属人化していた切削作業工程が自動化、効率化できたことで、女性や高齢者を含む幅広い層へ雇用を拡大し、働き方改革を実現するめどがたった。精度の向上も図れた。

「お客様から求められているものは納期。あとは傷や欠損を出さないこと。それを第一に考えています。そして仕事を断らない。要望があればできるだけ対応するというのが信条です」。ものづくりへの情熱を熱く語るのは、富士河口湖町船津の有限会社「松浦木工」の代表取締役、松浦晃さん。現在、オーダーメイド家具や建具、リフォームを手掛ける同社は昭和37(1962)年に父・文雄さんが創業。松浦さんが代表を引き継ぎ、2022年には創業から60年を迎える。

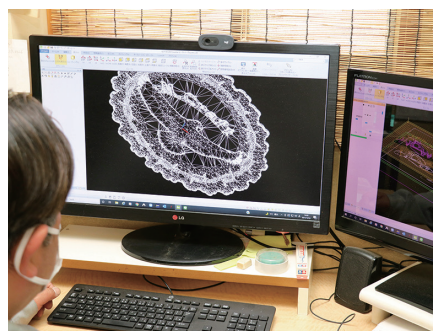
木のぬくもりを感じられるものづくりを目指し、顧客満足度を重視。保育園や学校、老人ホームなどの公共事業に関係する仕事も多く、地元での信頼が厚い。設備の充実と人材育成に力を入れている点も特長で、雇用面でも地域に貢献。敬老の日に合わせて老人ホームの建具を修繕するなどのボランティア活動も行っている。

強みは、品質の高い製品を良心的な価格で提供している点だ。職人による熟練の技に加え、新しい設備を積極的に取り入れて精度の向上を図り、付加価値の高い製品を生み出している。なかでも丸テーブルなどの円の曲線加工に定評があり、一般的に高価格になりやすい特注品やオーダーメイドも、図面作

成時から顧客目線で仕様を提案できるため喜ばれている。また、納品後のアフターフォローも徹底。作業工程は、女性や幅広い年齢層の作業員にも可能な体制を整えている。

近年の家具業界では木のぬくもりが感じられる製品が注目され、木製家具のニーズは種類や機能面が多様化している。特に平面的な造形よりもフォルム自体に個性のある複雑かつ立体的なデザインの造形物の人気が高いという。また需要が拡大しているリフォーム市場においても高い技術力や小ロット多品種、ミリ単位での対応が求められている。短納期対応も大切な要素だ。こうしたニーズを満たすには加工の際に精密な寸法が要求され、高度な品質と長い工数が必要となる。

同社は精密加工と作業効率の向上のため、ものづくり補助事業を活用してNCルータと美術工芸用CAD/CAMを導入した。熟練工へ属人化していた切削作業工程を自動・効率化すれば、その分デザイン・加工設定に注力できるため、1案件に携わる時間を短縮し、作業案件数の増加につながる。さらに機械での加工工程では未経験者を含め幅広い層へ雇用を拡大し、働き方改革の実現も期待できる。



導入したNCルータと美術工芸用CAD/CAM



NCルータで看板に文字を彫る様子

短時間で高精度の仕上がり「すごい」 大量受注も可能に

導入したNCルータは、材料を加工ベッドに乗せれば平面・木口面の加工から完成まで一貫して仕上げてくれる。作業時間の短縮と製品の品質を維持し、小ロットから大量生産まで幅広く対応できる。美術工芸用CAD/CAMは、2.5次元対応のCADを導入することにより、手で彫刻したものをスキャンすれば立体用のCADデータになり、立体造形物の作成が可能になる。

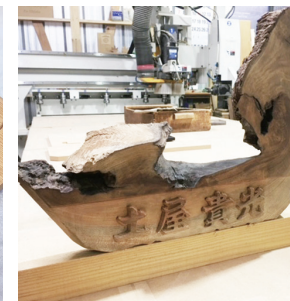
同社は、無垢スギ材にレバーハンドルを取り付ける加工を手作業で行う場合と、今回導入したNCルータで作業する場合を比較検証した結果、従来の方法では1カ所あたり15分かかるところを平均4分46秒に短縮することができた。また、ホワイトアッシュ無垢材の看板に明朝体で「山梨県中小企業団体中央会」の文字とロゴを彫刻する加工を手作業で行う場

合と、導入した美術工芸用CAD/CAMで作業する場合を比較する検証では、手作業で約3日間かかるところを1時間半以内で加工することができた。

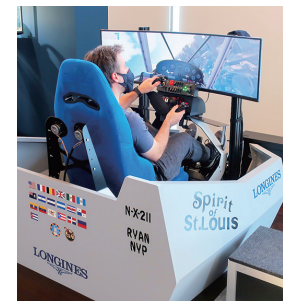
松浦さんは「すごいなと思いました。早いし精度も出ているし。これなら大量生産の受注にも対応できます。初心者の方がやっても品質の誤差がないという点も大きいですね」と手応えを見せる。看板製作では、文字がよりシャープに仕上がるようになり、字体もさまざまなフォントで彫れるようになった。「以前は平面彫りしかできなかったですし、書体も太めのものに限られていました。専門のパソコンソフトがなかったのでとても時間がかかり、修正しているうちにフリーズしてデータが消えてしまったことも…。今回の導入によってそういう負担が解消されました」。



シャープな仕上がりが美しい看板や表札



ウイスキーのイベントブースとカウンター什器



イベントフライトシミュレーター什器

「ものづくりは人づくり」 設備投資やミーティングで人材育成に尽力

自宅2階にダイニングと一体になったキッチン希望していたある御夫妻は、既製品には該当する商品がなく、オーダー製作できる会社を探して同社にたどり着いたという。松浦さんは、「ここで朝食を食べたい」という夫妻の要望通り、必要な動線やスペースを確保しながら、流し台と対面する側に1メートル20センチほどの奥行きをつけ、テーブルとして使えるよう施工した。「完成後、お客さんから『松浦さんに出会えて良かった』と喜ばれたのが本当にうれしかった」と声を弾ませる。

「仕事を大変だと感じたことはないですね。やっぱり好きだから。難しい仕事でも、考えるのがすごく楽しいんです。そのせいか、あちこちで断られた人が『松浦さん、何とかして』とやって来ることも多いです」

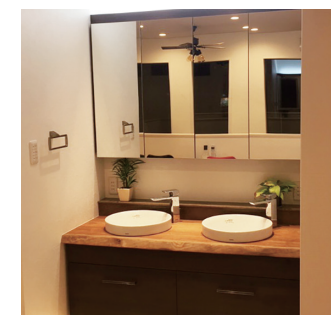
県富士・東部林務環境事務所や林業従事者、木工

業者らでつくる「富士山木製品ブランド会議」のメンバーでもある。県産ヒノキでオーダー家具を作る活動を通じて、県産材の魅力をPRするとともに持続可能な森づくりを進めている。

松浦木工では10年ほど前から、ものづくりの現場では一般的だったという長時間労働や古い価値観を改善しようと、最新機器への設備投資や従業員同士で情報を共有するためのミーティングに取り組んできた。従業員は現在、松浦さんと文雄さんのほかに若い男女3人が在籍している。「今後の目標は人をつくることですね。木工に興味を持っている人を一人でも二人でも多く、一流の職人に育ててやりたい。木工はいくら修業しても終わりのない世界です。ものづくりは人づくり。『人間の心が安らかであれば、良いものができる』というのが私の思いです」。松浦さんはこう言って明るい笑顔を見せた。



キッチンカウンター(奥)とダイニングテーブル



松浦さんの自宅の洗面台は自ら手掛けた